



▲今年も活躍が期待されるセルリオ島根

島根県スポーツレクリエーション・年齢別ソフトテニスを開催することが決定しております。

また、今年には北京オリンピックの年であり、ホッケー・ナショナルチームに本町出身の選手が選出され、活躍してくれるものと期待しております。

また、文化芸術の振興につきましては、文化協会を中心とした各グループへの支援、文化の日を中心とした奥出雲町芸術文化祭の開催や、各種演劇等を鑑賞するカルチャークラスの運行などの諸事業を積極的にを行い、「文化の薫り高いまちづくり」を目指して参

ります。

文化財の保護、保存、伝承等につきましては、引き続き推進して参ります。

また、尾原ダム建設に伴う埋蔵文化財調査につきましては、昨年度に引き続き矢谷地内の「御崎遺跡」と佐白地内の「家ノ脇I遺跡」の発掘調査を予定しております。

⑥ 行財政運営

行政改革

行政改革については、行政改革審議会の答申を受け、職員定数の削減・給与の適正化をはじめ、外郭団体の統廃合、消防団組織の見直し、第三セ

クターの経営体制の刷新、保育所の民営化などに取組んで参りましたが、引き続き、第三セクターの経営改善や、幼稚園、小中学校の再編、下水道料金の統一などの諸課題について、検討して参りたいと考えております。

また、行政組織機構については、昨年、福祉事務所の設置や課の統合など、一部見直し

を行いました。今後も引き続き業務量や事務事業を見直し、機構の一部見直しも含め、簡素で効率的な行政組織の構築に努めて参りたいと考えております。

なお、一昨年から県農業改良普及員の駐在をいただいておりますが、極めて大きな効果があり、二十年度も引き続き、県東部農振センター雲南事務所仁多地域振興グループの直接指導・支援をいただき、農業担い手支援センターを役場仁多庁舎に設置し、就農支援や技術向上、組織の集団化等を一層進めたいと考えております。

また、四月から農林水産省と職員交流を行い、本省から一名の出向を受け、県との連携調整に努めます。

職員の給与

職員の給料につきましては、労働協約上合意が必要であった現業職員につきまして、県労働委員会への不当労働行為の救済申立がなされていたこと

から、旧町間の行政職二表の調整が出来ておりませんが、昨年八月に県労働委

員会の調停を受け、職員組合との協議を重ね、本年一月から現業職員についても一般職員と同様、旧仁多町の給与に合わせる調整を行うことで合意したところであります。

また、行政改革審議会の答申を受け、平成十九年四月から課長級については五割の給料カットを行って参りましたが、本年一月から平成二十二年三月までの間、課長級につきましては引き続き、また新たに課長補佐級については四割、その他の職員については三割の給与カットを実施することといたしました。

職員給与の指標である平成十九年度のラスパイレース指数は、県下十三町村中上から七番目の水準で、昨年を二・五ポイント下回っております。

今後も町職員の給与の状況について、その透明性を高め、更に改善に努めて参りたいと考えております。

奥出雲病院事業

新病院に移転し十年目を迎えますが、平成十三年度に導入した電子カルテシステムをこの度更新し、診療の効率化

を図るとともに、平成十五年

から実施しております電話での診療予約による待ち時間の短縮など、利用者の利便に努めて参りました。

一方病院を取り巻く状況は非常に厳しく、国の医療費抑制策、全国的な医師、看護師の不足などにより、診療科の廃止や病院を縮小する動きが多発しております。

平成二十年度の事業収益は、二十億五千万円、事業費用も減価償却二億五千二百万円を計上しております。

今後も医療スタッフの確保に努め、地域の中核病院として診療体制の維持・整備に努め、引き続き健全経営に努めて参ります。



▲病院祭の様子